

記載例

共同申請の場合、連名で記載。
幹事事業者を最上段に記載。

会社 (実施場所) 北海道札幌市〇〇〇 〇-〇
 (事業者) MLJ鉄道株式会社 (実施場所) 北海
 (事業者) みどり物流株式会社 (実施場所) 北海

事業所の名称ではなく、住所を記入。

| | | | |
|-------------|---|--------------|------------|
| 事業名 | パートナーシップによって「タマネギ」の「北海道」～「関東・関西」間輸送を(鉄道・海運)へモーターシフトすることによる省エネルギー事業 | | |
| 事業の目的及び概要 | 従来は「10tトラック」によって運ばれていた「タマネギ」の輸送について(鉄道・海運)へモーターシフトすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「生鮮食品であるタマネギの輸送において、温度や湿度の変化を最小限に抑える保冷コンテナの導入を行ったこと」である。 | | |
| 事業期間 | 平成21年 月 日～平成22年1月29日 | | |
| 導入設備/技術概要 | 31ft鉄道保冷コンテナ 16基 MLJ鉄道株式会社…10基 みどり物流株式会社…6基 事業者ごとに導入設備を記入する。 | | |
| 政策的意義 | (該当箇所にチェック 複数選択可) <input type="checkbox"/> 前年度までにソフト支援事業・モデル事業・普及事業にて推進決定された事業に関連する(を参考にした)事業である。 「事業名: (平成 年度 事業)」 <input type="checkbox"/> 「流通業務の効率化・総合化に関する法律」(物流効率化法)の(認定を受けた)受ける予定)の事業と関連した事業である。 <input checked="" type="checkbox"/> (認定を受けた)受ける予定)事業者名「MET株式会社」 <input type="checkbox"/> 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(省エネ法)に規定された計画書に記載されている事業である。 * 計画書に記載している事業者名「MET株式会社」 <input type="checkbox"/> 「地球温暖化対策の推進に関する法律」及び京都議定書目標達成計画によって求められている自主行動計画に記載されている(記載に深く関係する)事業である。 * 自主行動計画の策定団体名「」 <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 普及性 | (該当箇所にチェック 複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/> 今後、自社(MET株式会社)の他路線(北海道～中部・名古屋)で同様の事業を行う予定。 <input type="checkbox"/> 今後、自社(会社名)の他品目(輸送品目)で同様の事業を行う予定。 <input checked="" type="checkbox"/> 本事業は同業他社においても活用可能である。 <input type="checkbox"/> 本事業は他業界においても活用可能である。 <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 省エネ効果(原油換算) | 事業前 | 事業後 | 別紙4より自動転記 |
| | エネルギー使用量 502.1kl | 430.6kl | |
| | 輸送量(トンキロ) 32,131,788.0 | 38,646,386.0 | |
| | エネルギー原単位 0.01235 | 0.00820 | |
| | 省エネルギー率 33.59% | 省エネ量 345.0kl | |
| 費用対効果 | 省エネ量(kl)/補助対象経費(億円) = 280.5(kl/億円) | | |
| 事業費 | 補助事業に要する経費 | 補助対象経費 | 補助金申請額(円) |
| | 設計費 | | |
| | 設備費 117,600,000 | 112,000,000 | 37,333,000 |
| | 工事費 | | |
| | 諸経費 | | |
| | 消費税 5,880,000 | | |
| | 計 123,480,000 | 112,000,000 | 37,333,000 |

別紙2より自動転記

※1枚にまとめること。

別紙2

所要資金計画(事業全体)

| 費目 | 金額(円) | | 積算内容(円) | | | | |
|----------|---------|-------------|---|---|-----------|--------------------------|----------------------|
| | 全体 | | 使用目的 | 仕様 | 個数 | 金額(個別) | 購入者 |
| I. 設計費 | (補助対象) | | <input type="checkbox"/> 船舶設計費 <input type="checkbox"/> その他 | 該当する使用目的にチェックを入れてください。該当するものが無い場合は「その他」にチェックを入れて下記に内容を記載してください。 | | | |
| | (補助対象外) | | | | | | |
| 小計 | | | | | | | |
| II. 設備費 | (補助対象) | 112,000,000 | <input checked="" type="checkbox"/> コンテナ <input type="checkbox"/> フォークリフト <input type="checkbox"/> トラック <input type="checkbox"/> トレーラ <input type="checkbox"/> フォークリフト <input type="checkbox"/> クレーン <input type="checkbox"/> 通い箱 <input type="checkbox"/> その他 | 31ft鉄道保冷コンテナ 31ft鉄道保冷コンテナ | 10基 6基 | 70,000,000 42,000,000 | MLI鉄道(株) みどり物流(株) |
| | (補助対象外) | 5,600,000 | トラック(購入済み) トレーラヘッド(購入済み) | | | 3,500,000 2,100,000 | MLI鉄道(株) みどり物流(株) |
| 小計 | | 117,600,000 | | | | | |
| III. 工事費 | (補助対象) | | <input type="checkbox"/> クレーン設置費 <input type="checkbox"/> その他 | ①補助対象内外の主な導入設備の概略仕様、数量、必要経費の詳細を添付のこと。 ② ①の金額に関しては第三者に対して行った参考見積などの根拠を添付のこと。 ③ ②の根拠と別紙2との差がある場合は差を説明する表を添付のこと。 | | | |
| | (補助対象外) | | | | | | |
| 小計 | | | | | | | |
| 補助対象 計 | | 112,000,000 | | | | | |
| 補助対象外 計 | | 5,600,000 | | | | | |
| 消費税 | | 5,880,000 | | | | | |
| 合計 | | 123,480,000 | | | | | |

※上記費用は当該補助事業と類似の事業において同程度の規模、性能を有すると認められるものの標準価格等を参考として算定し、その算定根拠を添付すること。

※上記費用は請負業者の一般管理費及び利益を含んだものとする。

別紙3

事業者ごとに作成

資金調達計画(MLI鉄道株式会社)

(単位:円)

| 調達先 | 調達金額 | 備考 |
|------|------------|----|
| 補助金 | 23,333,000 | |
| 自己資金 | 53,842,000 | |
| 借入金 | | |
| 合計 | 77,175,000 | |

消費税を含む補助事業に
要する経費全額について
記入する。

別紙3

事業者ごとに作成

資金調達計画(みどり物流株式会社)

(単位:円)

| 調達先 | 調達金額 | 備考 |
|------|------------|----|
| 補助金 | 14,000,000 | |
| 自己資金 | 26,305,000 | |
| 借入金 | 6,000,000 | |
| 合計 | 46,305,000 | |

消費税を含む補助事業に
要する経費全額について
記入する。

別紙4

| | | 単位 | 事業前 | 事業後 |
|-----------|-------|-------|---------------|--------------|
| 輸送物量 | | トン | a 10,000 | a' 10,000 |
| 輸送距離 | | キロ | 2,710,994 | 564 |
| 輸送量 | | トンキロ | 27,131,788 | 38,646,386 |
| エネルギー消費実績 | ガソリン | kl/年 | | 302.0 |
| | 軽油 | kl/年 | | 358.0 |
| | 電力消費量 | kWh/年 | | |
| CO2排出量 | | t-CO2 | b 2,729.55 | c 1,857.0 |
| 原油換算量 | | kl | d 1,027.06 | e |
| 原油換算原単位 | | kl/トン | f 0.01235 | g 0.00820 |

輸送モードで使用する全てのエネルギーについて記載する。

導入後の輸送物量は、原則として導入前と同一とする。

事業前の輸送物量は1年間の実績値とす

複数のルートがある場合は、記載不要

$$g = e/a'$$

(注) 導入後の原油換算量は、補助事業に係わるエネルギー消費量の差異のみを織り込む。
輸送物量は原則として事業前後で同一とする。
エネルギー名・単位・原油換算値は適宜修正すること。

【省エネ効果】

| | | | |
|---------|-------|---|--------|
| CO2削減量 | t-CO2 | h | 872.53 |
| 省エネルギー率 | % | i | 33.59% |
| 省エネルギー量 | kl | j | 345.04 |

b-c

(f-g)/f

a × (f-g)

上記より自動計算

別図1

導入前後の比較図

